

# 【 インドネシア企業視察報告書 】

浜松鉄工機械工業協同組合

## 【視察趣旨】

本年視察事業としては、アセアン諸国の中で、最大の人口を有し経済活動が成長しているインドネシア共和国の組合関連企業を訪問し、その実情を見聞調査すると共に、情報交換、交流の場を設けて相互理解を深め、今後の組合員企業の経営の指針を得るべく視察を行いました。

## 【視察メンバー】

代 表： 杉田 哲朗（杉田工業株） 組合代表理事（浜松鉄工機械工業協同組合代表）

メンバー： 杉浦 政秀（杉浦金属株） 神谷 文吾（神谷理研株）  
渭原 利之（株イハラ製作所） 江間 通晴（江間工業株）  
服部 勝（株小楠溶接製作所） 野嶋 秀通（株明和工業）  
山本 慶輝（大興金属株） 高橋 茂秀（カツヤマファインテック株）  
小島 勝広（有）小島歯車製作所 大崎 輝政（株オオサキ）  
高井 宏招（株丸高塗装工業所） 古田 幹雄（フルタ・エンネツ株）  
石井 幹人（株イシイ） 小澤 剛（株サツ川製作所）  
渡辺 稔彦（組合事務局）  
以上16名 ※メンバーについては、順不同

視察サポート、視察支援(敬称省略させていただきました。)

渭原 利之（株イハラ製作所） 野嶋 秀通（株明和工業）  
勝山 宗一（カツヤマファインテック株） 大崎 輝政（株オオサキ）  
その他視察先企業関係者の皆様多数

## 【視察期間】

2013年10月16日（水）～19日（土）3泊4日

成田国際空港～インドネシア・スカルノハッタ空港、他合流

## 【スケジュール】 視察スケジュール

2013年10月17日(木曜日)視察予定

|                          |              |
|--------------------------|--------------|
| PT KATSUYAMA FINETECH    | 8:00 ～8:45   |
| PT IHARA MFG. INDONESIA  | 9:30 ～11:00  |
| PT FUJI SPRING INDONESIA | 11:15 ～12:00 |
| PT MEIWA KOGYO INDONESIA | 13:00 ～13:45 |
| HAMATETSU INDONESIA      | 14:00 ～15:00 |
| PT OKS INDONESIA         | 15:30 ～16:00 |

## 【個別視察内容】

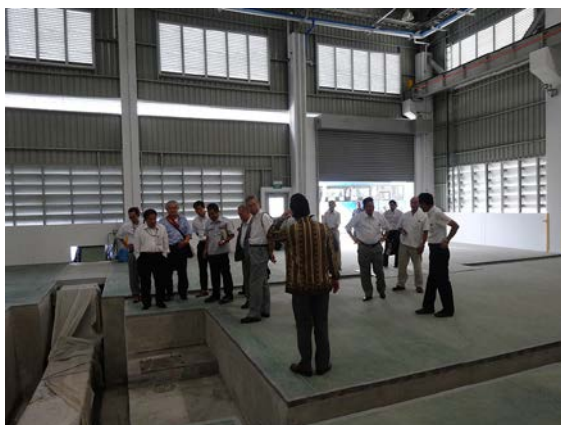
### PT. KATSUYAMA FINETECH INDONESIA

所在地： Blok AD No 01 Kota Deltamas, Nagasari Village, Serang Baru Subdistrik, Bekasi Regency - 17330. INDONESIA

従業員数： 50名(規模予定)

事業内容： 自動車用シートベルト部品製造、カチオン電着塗装請負加工

早朝7時ホテルを出発しデルタマス工業団地内の、KATSUYAMA FINETECH INDONESIA を視察させて頂きました。浜松から高橋社長も視察に合わせて現地入りして下さり当組合視察団を迎えて頂きました。工場内にて機械設置中の様子を拝見させて頂き高橋社長からインドネシア工場の設立から、現在に至るまでの概要説明の後、工場内を視察させて頂きました。工場視察中参加者からの質疑に詳細にわたり回答説明を頂きました。



工場内であいさつ、説明の様子



工場内視察の様子



工場内外視察の様子



工場内にて視察記念写真撮影

## PT. IHARA MANUFACTURING INDONESIA

所在地：J 1 .Maligi Raya Lot G-1A&B Kawasan Industri KIIC Sukaluyu, Teluk Jambe  
Karawang 41361 Jawa Barat

従業員数：700名

事業内容：二輪四輪オイルポンプ、クランクケースカバー、ウォーターポンプ等

当組合イハラ製作所のインドネシア現地法人を視察させて頂きました。渭原社長も視察の日程に合わせ、事前に現地入りして下さり当組合視察団を迎えていただきました。カラワン工業団地は、ジャカルタから60KMの位置にあり、多くの日系企業が進出しています。会議室にて渭原社長、高田社長（現地法人）から会社概要の説明、生産動向等詳細な説明、などスライドにて詳細に説明頂き、以前にも増して大規模となった工場内を視察させて頂きました。工場視察後会議室にて、参加者からの積極的な質疑応答にご回答賜りました。



会議室での説明の様子



視察の様子



視察の様子



玄関前にて視察記念写真撮影

PT FUJI SPRING INDONESIA

所在地： JL.MALIGI VI LOT M-8B,KAWASAN INDUSTRI KIIC.KARAWANG  
41361-WEST JAVA INDONESIA

従業員数： 132名

事業内容： 二輪四輪用部品用バネの製造

フジスプリング、当組合鈴木スプリング製作所のインドネシアカラワン工業団地内の現地法人を視察させて頂きました。新村社長、高坂取締役から会議室にて、会社の概要説明、今後の展開など説明を受けた後工場視察させて頂き会議室にて、参加者からの積極的な質疑応答にご回答賜りました。



会議室での説明会



工場視察の様子



工場視察の様子



玄関前にて視察記念写真撮影

#### PT MEIWA KOGYO INDONESIA

所在地： Kawasan Industri KIIC Jl.Maligi IV Lot K-1d Sukaluyu, Teluk Jambe  
Karawang 41361 Jawa Barat

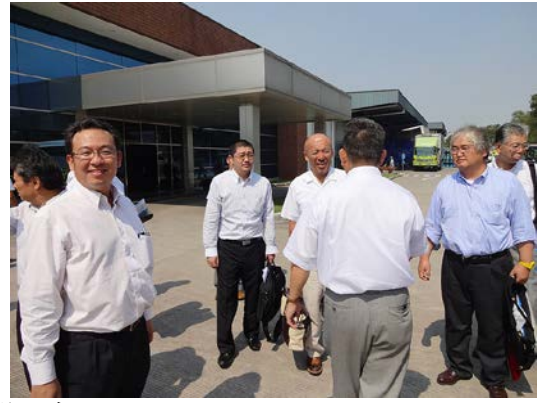
従業員数： 705 名

事業内容： 二輪用ダイキャスト部品、アッセンブリー

当組合明和工業のインドネシアカラワン工業団地内の現地法人を視察させて頂きました。日本から野嶋社長も先に現地入りされ、組合視察団の行程調整にご尽力いただき、視察全行程のサポートをして頂きました。野嶋社長から会議室にて、会社の概要説明、今後のインドネシアにおける展望、問題点など説明を受けた参加者からの積極的な質疑応答にご回答賜りました。



会議室での説明会



会議室での説明会



玄関前にて視察記念写真撮影

## HAMATETSU INDONESIA

所在地：Jl. Permata Raya Lot B-6A Kawasan Industri KIIC Karawang Barat 41361 West Java, Indonesia

従業員数：500名

事業内容：二輪エンジン、駆動系の冷間鍛造部品

当組合浜松鉄工のインドネシアカラワン工業団地内の現地法人を視察させて頂きました。寺田社長から会議室にて、会社の概要説明、現状での問題点今後の展開など説明を受けた後工場視察させて頂き会議室にて、参加者からの積極的な質疑応答にご回答賜りました。



会議室での説明会



工場視察の様子



工場視察の様子



玄関前にて視察記念写真撮影

PT. OKS INDONESIA

所在地： Jl.Kamper No,1 Delta Silioon 1 Industrial Estate.Deso Java, Indonesia  
Sukaesmi Kec Cikarang Selatan Bekasi 17550



従業員数：20名

事業内容：二輪四輪用部品用バネの製造

当組合オオサキのインドネシアの現地法人を視察させて頂きました。大崎社長、袴田取締役から会社の概要説明、今後の展開など説明を受け、参加者からの積極的な質疑応答にご回答賜りました。視察時間が少ないにもかかわらず丁寧な対応をして頂きました。



視察の様子



玄関前にて視察記念写真撮影

## 【 浜松鉄工機械工業協同組合 組合研修事業 杉田代表理事 報告書 】

『2013年インドネシア視察研修レポート』参加人数16名

10月16日から成田空港→ジャカルタ空港便でインドネシアのデルタマス工業団地、カラワン工業団地およびチカラン工業団地（ジャカルタから東へ35km）へ進出されている日

系企業を視察しました。15日深夜に関東地方を台風が直撃する予報があり、移動日を一日早めた15日に成田空港近くのホテルに前泊しましたが、翌朝16日にホテルから空港までの間で道路が冠水し、10kmを移動するのに3時間半以上かかりました。フライト予定時刻の40分前に空港到着して、走ってチケットカウンターまで行く状況でした。無事視察を行えたことを関係各位に心よりお礼申し上げます。

インドネシア共和国の一般情報は。

1. 面積 約189万平方キロメートル（日本の約5倍で多くの島から成り立っている）
  2. 人口 約2億38百万人、ジャカルタは960万人（2010年の統計）
  3. 民族 大半がマレー系で言語はインドネシア語
  4. 宗教 イスラム教88.1%
  5. 政治 大統領制、内閣は大統領の任命と地方代表議会
  6. 経済 主要産業 製造業 24%  
農林水産業 15%  
商業 14%  
鉱業 12% LNG、石炭、ニッケル、錫、石油など
- 貿易 2012年 輸出1,900億ドル 輸入1,917億ドル 収支-17億ドル
- |          |       |
|----------|-------|
| 輸出 鉱業    | 33.9% |
| 動植物油     | 10.6% |
| 輸入 石油・ガス | 22.9% |
| 一般機械     | 13.9% |
| 機械・電気部品  | 11.5% |
- 一人当たりのGDP 約3,563ドル（2012年の統計）  
経済成長率 6.2%（2012年の統計）  
物価上昇率 4.3%  
年収：ワーカー月52,000円、残業で1万円～2万円。

日本食のラーメンは、日本より高い。（中国と同じ）

インドネシアの生活水準が上がり、電気や自動車（二輪含む）燃料の需要が増大しているために、国内の石油やガスの生産が間に合わない分を輸入し、貿易赤字となっているが、シェールガス開発によるガス価格の低下も影響していると考えられます。

この状況が続けば、過去の韓国や中国、ベトナム等のように債務不履行になる危険性を持っています。工業生産能力を上げるための積極投資を行うか、主要産業の製造業の輸出を急増させる必要があるものと思われます。その意味から考えると、インドネシア政府の所得倍増政策による賃金の急上昇はインドネシア各産業への影響も大きく危険を伴う政策とも考えられます。また、首都近郊の賃金上昇が激しく、中国に見られるような地方との貧富格差による政治や治安の不安定を招く恐れも含んでいることを考えるべきで、過去にジャカルタで起きた暴動を再発させないような施策も大手企業を中心に進めるべきかと思えます。

今回の視察は、8年前に視察したインドネシアのその後の変化を知り、ブーム的な海外投資ではなく自身の意思決定に必要な投資環境情報を肌で感じる視察を行いたいとの意向で企画されたものです。

「10月の視察先各社様と日程」（会社名敬称略）

16日（水）浜松→成田→ジャカルタ→ホテル着（現地時間19:30時頃）

17日（木）7:00ホテル出発→カツヤマファインテック（デルタマス）→PTイハラ（カラワン）→昼食→PTメイワ→PTHアマツ→フジスプリング（チカダン）→PT.OKS →19:00懇親会会場へ

18日（金）9:00ホテル出発→インドネシア独立記念塔にて太平洋戦争などの歴史と独立の背景を見学。→昼食→雑貨の卸問屋街見学。→ジャカルタ空港近くで夕食→23:15出発

19日（土）9:00成田着→12:37浜松着・解散

## 1. 研修目的

- ① ジャカルタ周辺の投資環境を見る。
- ② 海外現地法人のリスクの変化を知る。

## 2. 企業視察報告

**PT・カツヤマファインテック・インドネシア様** 8:00～8:45

デルタマス工業団地（AD-01）

デルタマス工業団地は、開発途中のスズキ自動車をはじめとする大手企業と中堅企業が進出する新しい開発地域で、高速道路から20分ほどの所にあり、見渡す限り工業団地が広がる広大な敷地を有する工業団地です。（インドネシアの工業団地は、大型の開発が多い）

カツヤマファインテック様の工場は、稼働予定2014年1月・資本金3百万US\$・敷地面積20,024㎡、床延面積3,480㎡・商品は自動車用シートベルト部品とそのアッセンブリー製品・従業員数約50名にて計画しています。

建物は完成していますが、団地の開発業者関係と行政の手際が悪く、頻繁に督促しています。インドネシアの行政機関の対応が遅いのは日常のようです。また、港湾の施設不足や輸入手続きの遅れなどが頻発して、日本から送った設備の引き取りが何日になるか分からない事も頻発します。手続き仲介業者も信用していいのか非常に困る中での立ち上げを現地スタッフの皆さんが頑張っています。工場は、金型製作から自動プレス加工、塗装、組み立てまでの一貫生産となっていて最新の日本の生産性と同等の工場となっています。

**PT・イハラMFG・インドネシア様** 9:30～11:00

カラワン工業団地（KIIC G1A&B）

カラワン工業団地はジャカルタからだいたい60kmの位置にあり、高速道路に直結した広大な敷地に設立されていて、大手企業や中堅企業が数多く稼働しています。設立2002年7月・資本金5百万US\$・敷地面積41,300㎡、床延面積18,000㎡・商品は二輪、四輪等のオイルポンプ、クランクケースカバー、ウォーターポンプ等・従業員数約700名（二直体制）となっています。

2002年に間借り工場からスタートしました。増産対応のため自社工場を作った直後にレンタル工場も手配しないと生産が間に合わなくなり、2008年に現在の新工場に移転しま

した。新工場はインドネシア第三世代の工場となります。この工場建設に当たり、旧工場では切削と組立を行っていましたが、素材であるアルミ鋳造から切削、塗装、組立の一貫生産をアルミの自動給湯設備等の最新の自動化を取り入れた、(労務費比率が低い地域で!) 更なる生産性の向上を進めた工場です。イハラ製作所様の世界戦略は、第一世代が海外生産の基礎を作り、第二世代や第三世代により成長を続けると云う長期ビジョンを実現するための活動を継続されています。

**PT・フジスプリング・インドネシア様 11:15~12:00**

カラワン工業団地 (K I I C M-8 B)

設立2003年10月・資本金120万US\$・敷地面積9,998㎡、建屋面積3,200㎡・商品は二輪、四輪等のスプリング(押しバネ、引きバネ、線加工、ねじりバネ)・従業員数約132名(正社員53%、契約社員47%)・2008年ISO9001認証取得・2009年ISO14001認証取得をしています。

2003年に資本金50万US\$でスタートした後、2011年4月に現在の土地取得を行い、同年11月の新工場完成に伴い移転をしています。日本人スタッフ4名で運営して、インドネシアの35社のお客様に販売して売上高は急増しています。直接輸出は行っていませんが、お客様から他のアジア地域に輸出している可能性はあります。生産は、インドネシアに工場を持つ日系の会社が日本から輸入した原材料を伸線加工したものを調達して使用しています。材料の品種、サイズ毎に保管したものを加工に回します。(品質上重要な管理になります)ばね巻加工等の整形加工後に、熱処理、研磨、検査工程を経て完成品置き場から納入しています。製品の中には、お客様より全数検査指定がある精密なものがあります。メッキなどの表面処理は、外作しています。ばね加工機械は、20年以内の中古機械をインドネシアに持ち込むことは可能ですが、日本海事検定による事前審査とインドネシアへの書類申請(3か月程度)が必要です。他に、イスラム教の国なので礼拝所や宗教行事への配慮が必要です。

**PT・メイワコウギョウ・インドネシア様 13:00~13:45**

カラワン工業団地 (K I I C K-1 D)

設立2004年10月・資本金310万US\$・敷地面積22,975㎡、建屋面積12,117㎡・商品は二輪用ダイキャスト部品とアッセンブリー・従業員数約705名(正社員53%、契約社員47%)・2008年ISO9001認証取得をしています。

2005年1月より鋳造の後ろ加工からスタートし、5月より自社工場にて生産を開始しました。その後、2007年に工場増築により素材であるダイキャストからの生産を開始、2009年に現在地の工場建設を行い、全面移転とともに塗装加工の内製をし、ダイキャストから機械加工、表面仕上げ、塗装、完成品までの一貫生産ラインとしました。販売先は、インドネシア国内向と日本向けの輸出、お客様からの輸出となっています。これらの事業拡大中に、リーマンショックや電力供給不足、材料価格の高騰、ローン頭金ショック、労務費の上昇等の問題をクリアしてきました。現在の問題は物価の上昇で、特に土地価格と労務費は重要課題です。工業団地の土地価格(30年借地)は2008年の48US\$/㎡が現在200US\$/㎡と4倍に、労務費は3年前の18,000円/給与が35,000~40,000円/給与と2倍以上となっています。これからのインドネシアビジネスでは、手作業

は労務費の低いローカル会社に外作する。工場内自動化を進める。商品構成を変える。不良率を減らす。等の日本と同じ経営が必要となっています。また、為替のルピア安によるドル返済負担も大きく、日本との親子ローンなどによる資金調達能力も大切となっています。ルピア通貨による借入金利は9%と高く、借入しにくい状況です。

#### **PT・ハマテツ・インドネシア様 14:00~15:00**

カラワン工業団地 (KIIC B-6A)

設立2004年10月・資本金200万US\$・敷地面積14,000㎡、建屋面積4,250㎡・商品は二輪用のエンジン、駆動系の冷間鍛造部品・従業員数約500名(二直及び三直)となっています。

月間生産能力Max 370万個を有しています。インドネシアは組合活動が活発で、ストライキに対し抵抗感がない事とお客様の注文変動に対して設備余裕を持たないとリスクな面があります。ただし、最近の賃金上昇率は大きく余裕率イコール利益圧迫になりつつあり、生産と労務のバランスが難しくなっています。工場の品質方針は、日本と同じで納入品質への要求も同等です。材料は、日本材です。より安価な中国材にもトライしてきましたが、鍛圧率の高い高度な加工では、材質の安定性が悪く、ロット全て不良になることもあり、ロットが少ない事と為替の変化で日本材との価格差が少なくなった事により、日本材のほうがコスト/バリューが高くなっています。生産工程は、材料切断、ボンデ(潤滑被膜)、冷間鍛造、焼鈍、切削、研磨、ブローチ、溶接等の多工程からなっています。従業員の日本研修制度による人材育成を行っています。鍛造加工の金型は、品質の安定などの必要性から日本から調達しています。インドネシアの経営環境は、年毎に厳しくなっています。工場の生産効率向上や経費削減の必要性は日本と同じです。自動化率のアップや多台持ちの台数増、消費電力の削減(照明等の使用制限が行われています)の努力が必要とされています。

#### **PT・OKS・インドネシア様 15:30~16:00**

デルタシリコン工業団地 1

設立2005年1月・資本金24.5万US\$・貸事務所と併設の倉庫及び駐車場・業務は機械の輸入販売(新品、中古)、機械部品の輸入販売、メンテナンス業務、機械設置を行っています。

日系企業は24時間稼働が多く、定期や緊急メンテナンスに要求されるのは、24時間365日の対応能力です。また、緊急の場合の重量物搬送、重量物トレーラー、機械部品探しや加工手配、電子制御パーツの修理能力など多岐にわたる情報ネットワークと技能が求められます。インドネシア人のスタッフ教育も進み、最近ではお客様からのリピート率も向上しています。もともとインドネシアの機械メンテナンスは、お客様都合より自分都合を優先する傾向があり、迅速な対応が取りにくい環境でした。現地スタッフへの教育は、そこから始まりました。現在では、日本人と同じ心で業務推進ができるようになり、仕事を任せる範囲も広がっています。その基本となっているのが、日本人スタッフのインドネシア語を現地に飛び込み独学で学ぶ姿勢や業務に対する気概や姿勢などの背中を見せてきた結果だと思えます。製造業にとってメンテナンス業務は電気やガス等の基本インフラの一つです。浜松の製造業と共に在る各企業の幅広さを感じました。

### 3. まとめ

- ① 海外視察でしか解らない現地リスクは有る。
- ② 海外投資は多くの知り合い（友人）を必要とする。
- ③ 決断したら諦めない。
- ④ やる気、根気の部下を育てる。

毎回の視察で発見することは多く、全てを文字にすることが出来ません。また、現地で学ことや感じることは参加者各々で、より多く有るものと思います。次回の海外視察では、より多くの会員の皆さんが参加されることを願っています。

### 4. お礼

最後になりましたが、現地で視察のご案内をいただきました各社の皆様へ心より感謝申し上げます。また、現地各社の許可と日程にご尽力いただきました関係各位の皆様へお礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。